

公安委員会 報告資料	雑踏警備におけるウェアラブルカメラ導入に 関するモデル事業の実施結果等	令和8年3月5日 地 域 課
<p>1 モデル事業の概要</p> <p>令和7年8月29日付けで、警察庁から標記のモデル事業の実施が通達され、当県警察がモデル事業実施県に選定されたことから、当県内において下記のとおり、モデル事業を実施した。</p> <p>2 モデル事業の実施状況（ウェアラブルカメラの活用状況）</p> <p>(1) 「おはら祭」での実施状況</p> <p>令和7年11月2日、3日に鹿児島市で開催された「おはら祭」において、警察官2名がウェアラブルカメラを装着して、いづろ交差点等において雑踏の概観や流れを撮影した。</p> <p>(2) 「川辺二日市」での実施状況</p> <p>令和8年2月14日に南九州市で開催された「川辺二日市」において、警察官2名がウェアラブルカメラを装着して、広瀬橋等からの雑踏の概観や流れを撮影した。</p> <p>3 映像データの保存・提供件数について</p> <p>上記モデル事業において撮影した映像データの保存・提供はない。</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記モデル事業の実施結果等は、警察庁へ報告済み。 ・ 今後のモデル事業実施結果等については、本年9月頃報告予定 		